

令和7年度
『福祉即戦力人材養成科』

開催概要

京都府北部

令和7年度『福祉即戦力人材養成科』とは

介護職員初任者研修過程①施設実習②ビジネススキル等向上のための追加研修③を加えた3ヶ月間の離職者向け訓練。介護・福祉事業所での即戦力人材となるよう養成と就職を目指す。

《科目一覧》

令和7年度 福祉即戦力人材養成科 訓練メニュー

介護職員初任者研修過程①	時間数	施設実習②	時間数	追加研修③	時間数
職務の理解	6	実習事前演習(4日間)	20	福祉即戦力人材養成科振り返り	6
介護における尊厳の保持・自立支援	10	介護・福祉の現場実習(1クール目×8日間)	56	人間の尊厳の理解	6
介護の基本	6	(1日×7時間)		野	4
介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9	実習事中演習(2日間)	10	ビジネスマナーⅠ	3
介護におけるコミュニケーション技術	6	介護・福祉の現場実習(2クール目×8日間)	56	ビジネスマナーⅡ	1
老化の理解	6	(1日×7時間)		ビジネススキル	5
認知症の理解	6	実習事後演習(2日間)	9	就職活動応用(履歴書の書き方)	6
障害の理解	3			就職活動応用(面接対策)	6
こころとからだのしくみと生活支援技術	75			デジタルリテラシー	1
振り返り(理解度テスト)	5				
小計	132	小計	151	小計	32
合計			315時間		

《講義スケジュール》

令和7年
12月～1月
2～3月

初任者研修＋
社会人マナー

実習16日間
追加研修
＋

初任者研修理解度テスト

今年度、各講師には科目評価をしていただきます。評価シートについては、事務局から担当が講師に配布させていただきます。評価内容については、別紙資料「初任者研修到達目標」を参考にご覧ください。

令和7年度『福祉即戦力人材養成科』講師養成

令和6年度は11法人から54名(丹後会場)の方に講師として出講いただき、北部地域での介護職員初任者研修や実務者研修に読み替えのできる地域研修の基盤整備の一助を担いました。

今後は、この出講者の経験やスキルを活かし、北部地域での取組につなげます。



【令和7年度テーマ】

人材確保と定着につながる指導力を身につける

●各研修について

■講師養成研修会

※今年度は講師決定から訓練開講まで期間が短いため、講師養成研修会の代わりに、質問等は個別で対応させていただきます。
ご了承ください。

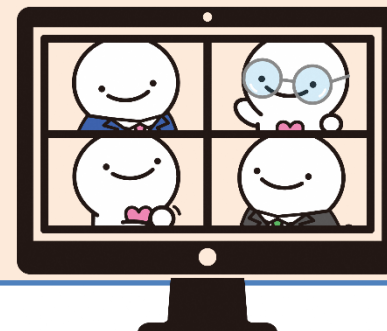
■実習指導者向け連絡会 ※令和6年度と変更点があるため、法人で一人は必ず参加してください。

【対象】 実習受け入れ担当者

【日時】 12月16日(火) 9:30～11:30

【会場】 オンライン(ZOOM)

★ご案内については、後日「府老協ネット」「WAMネット」等に掲載します。



令和7年度

『福祉即戦力人材養成科』 実施詳細

期 間

- ・令和7年12月11日（木）～令和8年3月10日（火）

会 場

- ・野田川わーくばる（与謝野町四辻161）
- ・丹後広域振興局・丹後保健所（京丹後市峰山町丹波855）
- ・宮津市福祉・教育総合プラザ（宮津市浜町3012番地ミッブル）
- ・丹後王国 情報交流センター（京丹後市弥栄町鳥取123）

募集人数

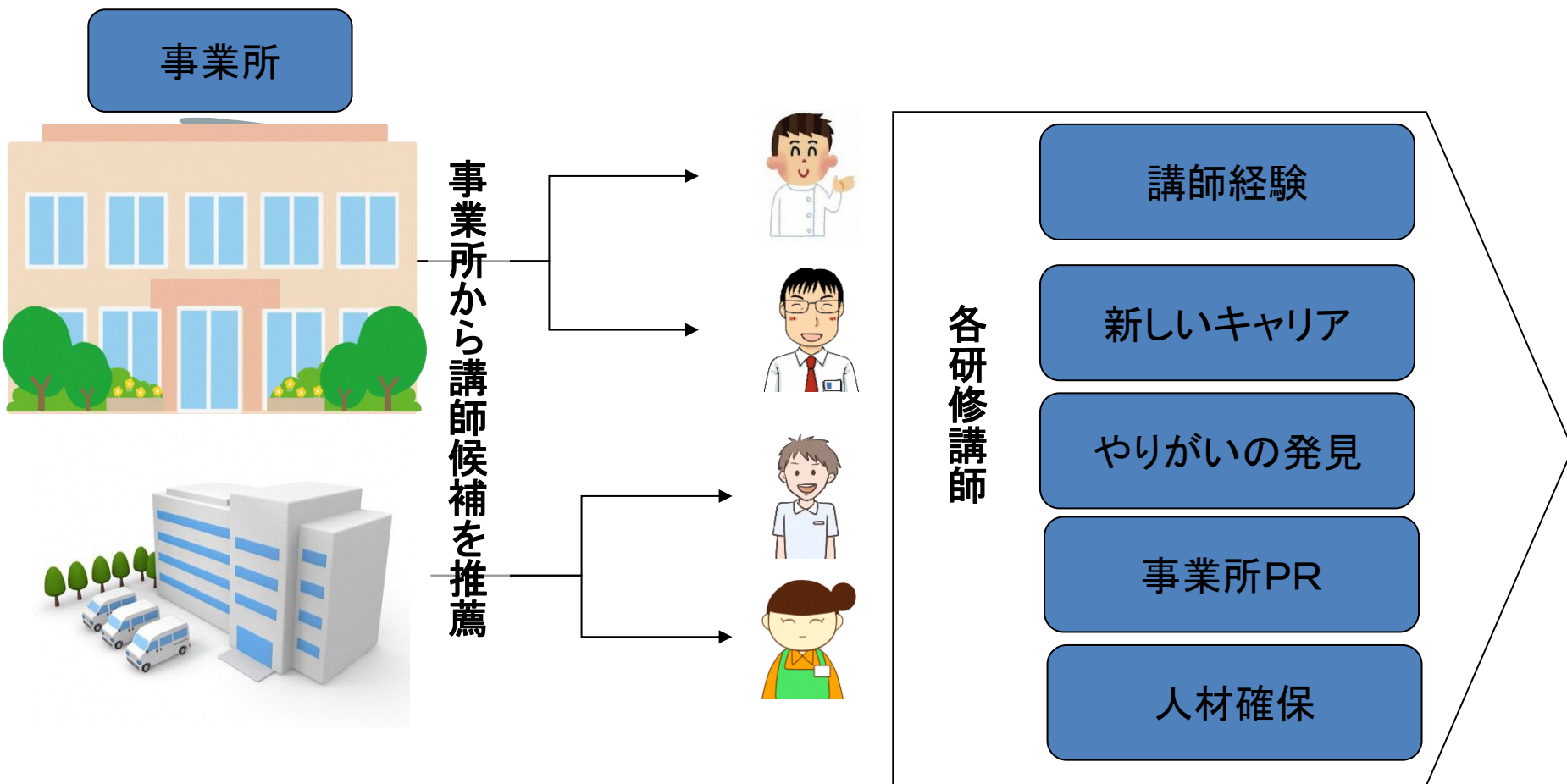
- ・25名 応募者が最小開講人数(15名)に満たない場合、訓練を開講しないことがあります。

対象者

- ・介護・福祉職を希望している、興味のある離職者

地域における講師人材の養成

今後の初任者研修、実務者研修及び地域研修の安定的な実施を目指すために、
各科目の単元を担当する講師の推薦を各事業所に依頼いたします



地域における講師人材の確保・
養成につなげる

講師出講の条件

条件

- 1) 各科目の講師要件に該当する
- 2) 修了時の評価ポイントを踏まえた講義ができる
- 3) 府北部地域の人材確保・育成の視点を持って、講義ができる

講師要件

○保健師・看護師、社会福祉士、介護福祉士、理学療法士、作業療法士 等
・・・・・・・・ 実務経験5年以上有する者

○介護支援専門員、精神保健福祉士 等 ・・・・・・・・ 実務経験3年以上有する者

○医師・・・・・・・・ 医師としての実務経験を有する者

○学識経験者、教員等・・・・・・・・ 実務経験を1年以上有する者

講師出講のメリットは？

法人・事業所

- 1) 介護職員初任者研修資格を取得
- 2) 法人の魅力発信・人材確保
- 3) 職員間の連携
- 4) 職員のスキルアップ
- 5) 現場の求める人材の養成

講師（職員）

- 1) 伝達能力のスキルアップ
- 2) 職場内の新人育成への活用
- 3) 新たなやりがい発見・仕事内容の振り返り

講師出講のFAQ①※昨年度と変更している点は赤字にしています。

Q1 テキスト・レジュメは講師が自分で作るのでしょうか？

A1 受講生が使用するテキストの担当科目箇所のコピーをお渡しします。レジュメは講師で作成ですが、京都保育福祉専門学院がアドバイスします。

Q3 研修の受講者はどんな方々ですか？

A3 普通離職者訓練の受講者です。年齢層は30代～60代が中心と思われます。福祉職未経験者がほとんどです。

Q2 初めてで不安ですが、サポート体制はありますか？

A2 京都保育福祉専門学院が時間配分など講義案等サポートします。**今年度、パソコンを使用される場合は、ご持参ください。**プロジェクター、スクリーン、マイクは用意します。その他に、模造紙、マジックなどは事前に申しつけてください。

Q4 推薦後、講師が対応できなくなったり、急なお休みの場合はどうしたらいいですか？

A4 分かった時点で事務局に連絡ください。日程調整、変更が可能な場合は後日振替講義にてご担当いただきます。

講師出講のFAQ②

Q5 講義を見学することはできますか？

A5 事前にご連絡頂き、見学可能な講義を調整いたします。

Q6 推薦にあたって必要な書類はありますか？

A9 推薦の段階では必要書類はありません。決定後すぐにご提出いただく書類は「経歴書」「誓約書」「資格証の写し」です。

Q7 出講はいつ頃決まりますか？

A7 11月末には決定いたします。
12月出講の方は出講間近になり、申し訳ございません。

Q8 講師出講の交通費はどうなりますか？

A8 交通費は実費お支払いいたします。
また、講師謝金をお支払いします。

(株)パソナより振込します。

(税抜き)

初任者研修：1時間あたり 5,000円

交 通 費：一律往復 2,000円

Q9 講師経験はどのように活かせるでしょうか？

A6 今後、講師バンクを構築する予定です。地域での研修や各施設内研修の講師活動の幅が広がります。